

南第一小学校 新たな学校づくりのQ&A

意見交換会に先立って、多数の質問・意見をいただきありがとうございました。当日いただいた質問も含めて、回答をQ&A形式でまとめました。



1 仮校舎について

【Q1-1】

工事期間中（南中学校の仮校舎で過ごす期間）に子どもたちの環境はどうなりますか？
（仮校舎で、運動場が狭くなることがありますか？給食はどうなりますか？）

現在計画している南中学校の校庭に建てる仮校舎は、今の南第一小学校に建っている校舎の面積、機能以上のものを計画しています。

体育館については、アリーナの広さは現在の体育館アリーナと同等程度の大きさのものを小学校用に設置する予定です。

校庭については、小学校と中学校で調整しながら使用することに加え、現在開放プールの臨時駐車場となっている部分にも小学校用の遊具等を設置し、小学校用の遊び場、運動場として可能な限り確保することを検討しております。運動会等のイベントについても中学校の校庭を調整しながら利用する想定です。また、プールについては、南中学校の温水プールを使う予定です。

バリアフリー設備については、エレベーターやみんなのトイレ等を設置し、バリアフリー化された施設整備をします。

給食については、近隣の小学校で2校分の給食を調理できる給食室から配送する予定です。できる限り温かく美味しい給食を届けられるよう、工夫してまいります。

【Q1-2】

南第一小学校に仮校舎を設置して、工事期間中も南第一小学校に通学することはできませんか？

南第一小学校の校庭に仮校舎を設置し工事を進められないかを検討しましたが、工事期間中は仮校舎を設置するだけで、運動場と遊び場のスペースは確保できず、体育館やプールの使用ができない状態となります。

これらのことから、南中学校に仮校舎を建設することにより、児童が多くの時間を過ごす学校生活においてより良い教育・生活環境を提供していくことができると考えています。

【Q1-3】

南第一小学校の建替工事を経験し、南中学校でも建替工事を経験する子どもが出ると思います。子ども達の負担が軽減されるような検討はしてもらえますか？

児童・生徒の減少や既存校舎の築年数により対応年数を過ぎる前に建替えをすることなどについて検討し、計画しているため小学校、中学校の両方で建替えを経験する学年があります。

仮校舎建設時の工事内容・工法等を検討し、南中学校の校庭面積を可能な限り確保したり、仮校舎の施設環境をより良くしたりすることにより、南中学校の敷地で授業を受ける児童・生徒の負担がより少なくなるよう努めてまいります。

また、南中学校の建替工事においても、南第一小学校の建替え時に使用した仮校舎を使用することで、工事期間が短くなり、建替期間中の生徒の負担を軽減することができます。

【Q1-4】

仮校舎のときは、学童保育クラブやまちともはどうなりますか。

学童保育室とまちともについても仮校舎で行います。

2 仮校舎への通学の負担軽減・安全対策

【Q2-1】

南第一小学校の建替工事期間中の通学は遠いため、他の小学校に入学できるなどの配慮はありますか。

町田市では通学区域緩和制度がありますが、通学区域緩和制度の受入枠は、毎年新入学予定者の数と学校施設の状況から、その年ご用意できる最大数をお示ししている次第です。

今後も各学校への受入枠を各学校と協議してまいります。

【Q2-2】

南第一小学校の建替工事期間中、通学距離が長くなりますが、通学の安全対策はどのように検討されますか。

通学路の安全対策は、保護者、地域及び学校の代表者等からなる「新たな学校づくり基本計画検討会」において、通学路の安全対策について検討をいたします。

その検討結果を踏まえて、警察・道路管理者・保護者・地域等と連携して、具体的な安全対策を実施していきたいと考えています。

【Q2-3】

通学の負担軽減にはどのような制度がありますか。

現在町田市では「通学費補助金」制度があります。住所から指定された小・中学校へ通学する際、遠距離のため公共交通機関を利用している児童・生徒の保護者に対して1ヶ月の通学定期の2/3の金額を補助しております。補助金の対象となる通学距離は、おおむね小学校で1.5km以上、中学校で2.0km以上です。

また、新入学のお子様は、通学区域緩和制度により隣接する学区の学校への入学を各学校の受入枠の範囲で希望できます。

【Q2-4】

南第一小学校の建替工事期間中、通学距離が長くなります。通学先が遠くなる児童へのフォローとしてどのように通学の負担軽減について検討されますか。

仮校舎に通学する児童に対してどのような配慮を差し上げることができるか、現在調査中です。今後公共交通機関のさらなる活用やスクールバスの導入などのような様々な負担軽減策について、地域の実情やニーズを踏まえて基本計画検討会の中で検討させていただきます。

【Q2-5】

南中学校の仮校舎に通うこととなりますが、通学の負担軽減の具体的な対応についてはいつまでに検討されますか。

通学の負担軽減策につきましては、これから始まる（仮称）南第一小学校新たな学校づくり基本計画検討会で検討することとなります。2022年度中に検討を進め、基本計画にまとめる予定です。

3 その他**【Q3-1】**

新しい通学区域に変更される時期はいつですか？

（学校統合以外に通学区域が変更される地区の変更時期はいつですか？）

学校統合に伴う通学区域の変更は、原則として、「町田市新たな学校づくり推進計画」に定めている「想定統合年度」に行います。学校統合を行わずに建て替える学校の通学区域の変更は、原則として「新校舎使用開始目標年度」に行います。

個別具体的な学校統合の時期または通学区域を変更する時期（就学指定校を変更する時期）については、下記の表1及び2をご覧ください。

表1：南第一小学校区に関する通学区域の変更箇所及び時期

①町区域名	②就学指定校（通学先）					
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
金森6丁目	南第一 小学校	南第一小学校 ※仮校舎 (位置：南中学校)			南第四小学校	
金森3丁目						
金森4丁目						
金森5丁目						
南町田1丁目						
南町田2丁目						
南町田3丁目						
南町田4丁目	鶴間小学校				南第一小学校 ※新校舎	
南町田3丁目						
南町田4丁目						
南町田5丁目	南つくし野小学校					
南町田5丁目						

表 2：南中学校区に関する通学区域の変更箇所及び時期

①町区域名	②就学指定校（通学先）																										
	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037～																		
小川2丁目	南成瀬中学校（2030年度長寿命化改修済）																										
成瀬が丘3丁目																											
高ヶ坂7丁目	南中学校																										
原町田1丁目										南中学校 （仮校舎）																	
原町田2丁目																			南中学校 （新校舎）								
金森4丁目																											
金森5丁目																											
金森東1丁目																											
金森東2丁目																											
金森東3丁目																											
金森東4丁目																											
金森1丁目																											
金森2丁目																											
金森3丁目																											
金森6丁目																											
金森7丁目																											
南町田1丁目																											
南町田2丁目																											
南町田3丁目																											
南町田4丁目																											
金森東4丁目	南中学校			南中学校（仮校舎）																							
南町田3丁目	つくし野中学校																										
南町田4丁目																											
南町田5丁目										南中学校 （新校舎）																	

【Q3-2】

通学区域はどのような考え方で検討したのですか？

「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づいて通学区域を編成しました。小・中学校区の統合については、子どもたちの人間関係や教育活動における小・中学校の連携を強化するため、原則として一つの小学校から複数の中学校へ分かれて進学することがなくなるようにしました。

また、地域コミュニティにおける様々な活動との関係に配慮するため、原則として町区域（例：森野1丁目など）で区分するものとしました。

【Q3-3】

南第一小学校の建替え工事に関する説明はどのようにしていますか。

南第一小学校や南中学校の入学者説明会や意見交換会などで直接ご説明する機会を設けています。今後についても、南第一小学校の新たな学校づくりについては広報紙による周知なども含めて多くの方に知っていただきながら進めていきます。

【Q3-4】

卒業したときの学校の施設（六角校舎など）がなくなることはとても寂しいです。学校の想いやシンボルとなるものを残すことはできるでしょうか

学校施設の老朽化に対応し、よい良い教育環境を整備するため、新しい学校を建設することを想定しています。

そのため、新しく学校をつくる際には、新たな学校づくり基本計画検討会で、学校への想いやシンボルなど、学校の歴史をどう新しい学校へ受け継いでいくか検討します。

【Q3-5】 当日質問

南第一小学校の新しい校舎は地域も利用できる前提とありますが、誰でも入れる場合の安全性の確保（不審者対応など）はどのようにになりますか。

児童と地域施設利用者で、利用する門や出入口を分けるなど、物理的な動線を分ける等の対応を考えています。

その他にも、放課後や休日などの地域の方が利用する時間帯には、利用者が普通教室などの開放区域以外へ入らないようにセキュリティラインを設け、施錠や警報装置等を設置するなどの対策を検討します。様々な方法を検討し、施設利用の利便性と児童の安全の両立を図っていきます。

【Q3-6】 当日質問

新たな学校づくり基本計画検討会委員は、どのように決められるのですか。

他地区で先行している検討会と同様に、学校運営協力者の代表者、保護者代表者、地域の協力者の代表者、対象校の教職員の代表者を委員とします。学校や地区連合会から委員のご推薦をいただく予定です。

2022年3月22日時点